

.....成果集.....

第7回

こなん水環境 フォーラム

つながろう！
人と人、人と自然・生きもの

みんなのびわ湖は、森のしずくから

私たちの周りでは、森林・里山の保全、魚を育てる水田づくり、環境学習などに取り組んでいる方々がたくさんおられます。みんなで琵琶湖や地域の環境保全のために行動すれば、活動はさらに楽しいものとなります。

人と人、人と自然・生きものとのつながりのテーマのもと、交流の場づくりを考えています。さらなる“つながり”を求めて、ぜひ出展・参加してみませんか？

初めて参加の方、
大歓迎!!

平成28年(2016年) **2月28日(日)**

12:40~18:30 (受付12時00分から)

栗東市総合福祉保健センター(なごやかセンター)

(栗東市安楽寺190) 駐車場有り
なごやかセンターまでバス等利用の場合は裏面参照

参加費・出展費は無料です
第2部の交流会は参加費が別途です



金剛山から琵琶湖を望む
(栗東市)

内容

プロローグ 12:40~13:00
●ウェルカムコンサート・ヨシ笛演奏「小町会」

第1部 こなん水環境フォーラム 13:00~16:50

- 講演「琵琶湖の恵みは緑豊かな森林から」(びわ湖まちかどむらかと環境塾)
前金勝生産森林組合長 宮城定右衛門氏
- 活動発表(栗東自然観察の森JVR、レッツ栗東、栗東市商工会)
- 展示ブースめぐり
- 意見交換

第2部 琵琶湖の漁師料理と山の幸を囲んでの交流会(要参加費1500円)

17:10~18:30 漁師料理と山の幸を味わいながら大いに語らしましょう



主催：湖南流域環境保全協議会 共催：滋賀県、草津市、守山市、栗東市、野洲市

こなん水環境フォーラムは、マザーレイクフォーラムならびにマザーレイク21計画の出前講座「びわ湖まちかどむらかと環境塾」と連携しています。

どんなフォーラムだったの？

様々な環境保全活動を多くの人たちに知ってもらうことで関心を持ってもらうと同時に、行動に移してもらうためのきっかけづくりを目的とし、草津市・守山市・栗東市・野洲市で環境に関わる活動をしている NPO などの様々な団体による活動発表・交流の場としてフォーラムを開催しました。

1. イベント名

第7回こなん水環境フォーラム

～ つながろう！ 人と人、人と自然・生きもの ～
— みんなのびわ湖は、森のしずくから —

2. 主催、共催

主催：湖南流域環境保全協議会

共催：滋賀県、草津市、守山市、栗東市、野洲市

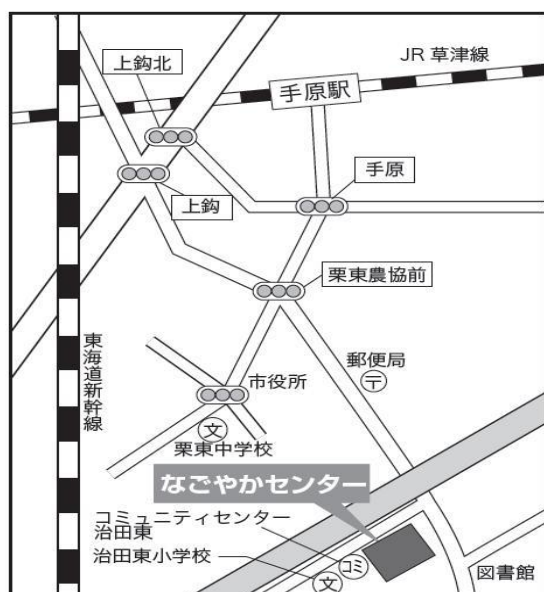
3. 日時

平成28年（2016年）2月28日（日） 12時40分～18時30分

4. 場所

栗東市総合福祉健康センター（なごやかセンター）

所在地：栗東市安養寺190



5. 参加者

フォーラム参加者：101人（うち高校生以下5人）

出展団体：20団体（下表のとおり）

1	NPO 法人子どもネットワークセンター天気村
2	NPO 法人家棟川流域観光船
3	もんぺおぼさんの田舎工房
4	びわ湖の水と地域の環境を守る会
5	琵琶湖博物館 環境学習センター
6	環境文化推進市民会議（伊佐々川を育む会）
7	大津・南部地域みずすまし推進協議会
8	草津市環境課
9	環境ボランティア 草津湖岸コハクチョウを愛する会
10	草津でホタルを楽しむ会
11	守山市環境政策課
12	マザーレイクフォーラム運営委員会
13	草津塾
14	湖南流域環境保全協議会
15	えこっち・やす 山部会
16	認定 NPO 法人びわこ豊稷の郷
17	栗東市環境政策課
18	NPO 法人 環境を考える会
19	湖南・甲賀環境協会 & NPO びわ湖環境
20	野洲市環境課

6. 内容

(1) プロローグ ウェルカムコンサート ヨシ笛演奏



ウェルカムコンサートの様子
「小町会」

(2) 開会あいさつ



(主催者)

- 湖南流域環境保全協議会
松沢松治 会長

(来 賓)

- 栗東市
野村 昌弘 市長



(3) フォーラムのオリエンテーション

○ 滋賀県琵琶湖環境科学研究センター 佐藤祐一 主任研究員

佐藤さんから、旗揚げアンケートの説明と「ラブレター」の説明が行われました。

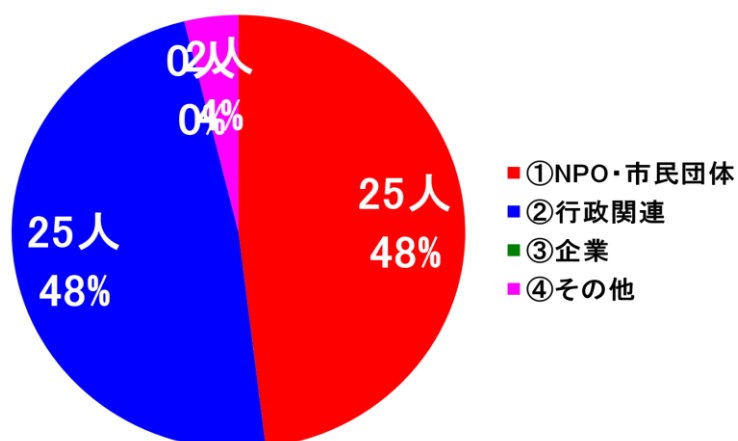
旗揚げアンケートでは、4 択式の質問が出され、回答された方にインタビューされました。

なお、旗揚げアンケートでは、参加者の半数が NPO・市民団体、行政機関の方でした。



旗揚げアンケートの様子

どんな方が集まっているのでしょうか？



(4) 講演「琵琶湖の恵みは緑豊かな森林から」

元金勝生産森林組合長 宮城 定右衛門 氏

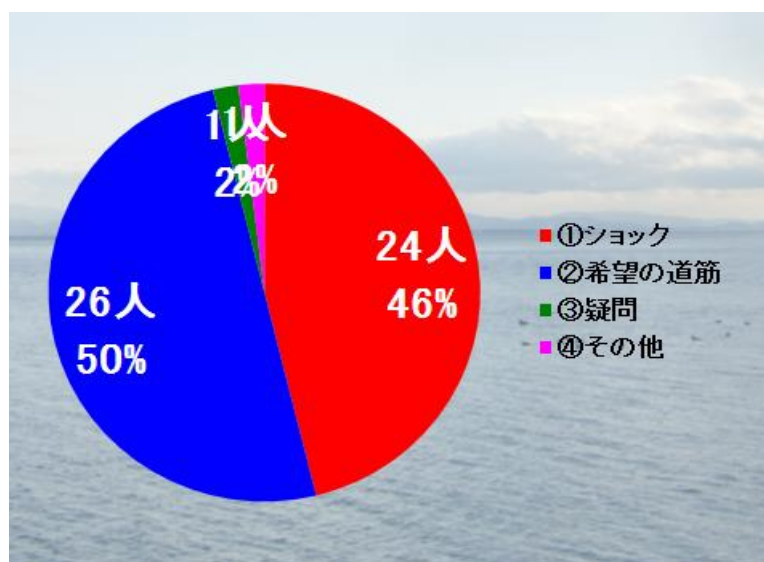
元金勝生産森林組合長として、また滋賀県指導林家として林業振興に貢献していただいている宮城様に講演をしていただきました。

その内容は、滋賀県および栗東市における森林内容から、琵琶湖森林づくり条例、政府の森林に関する施策について、また、これからの森林および林業の進む道等を幅広く講演をしていただき、参加者からは森の視点からお話が聞けて良かった、わかりやすかったと大変好評でした。



講演の様子

※ 講演を聞いてどう思いましたか？



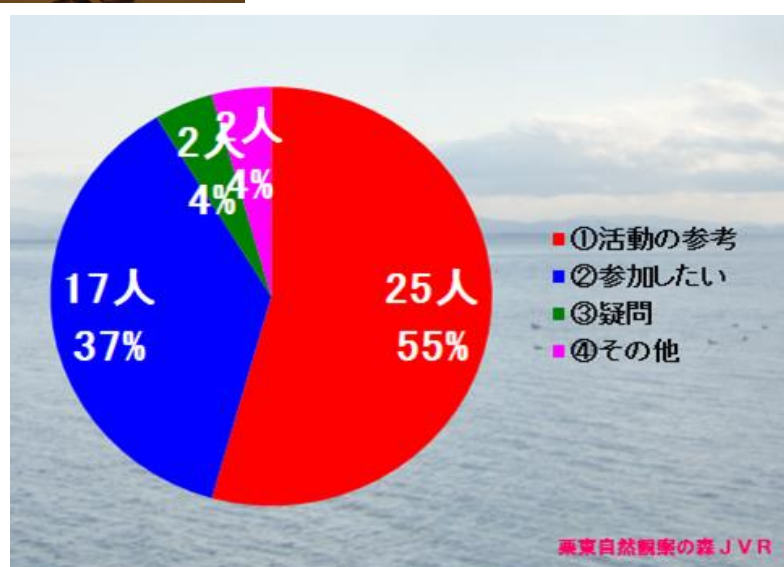
(5) 活動発表

地元で活動されている3組の団体の皆さんから発表していただきました。それぞれの発表について、旗揚げアンケートを実施した結果は以下のとおりです。

①栗東自然観察の森 J V R から



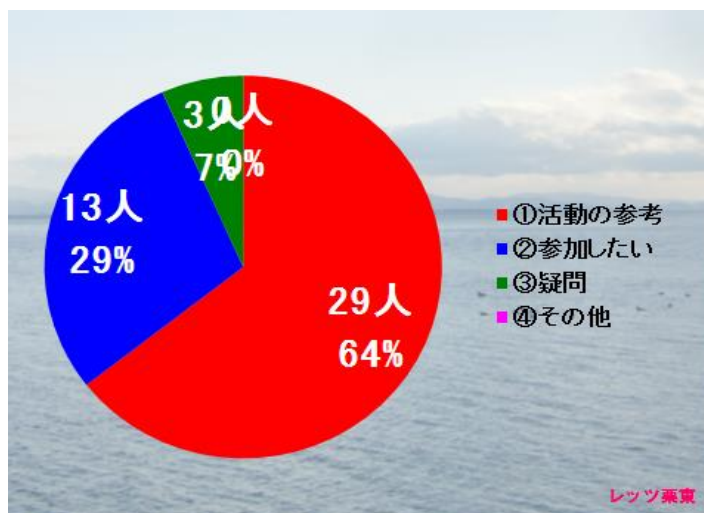
「J V R 養成講座」について



② レッツ栗東から



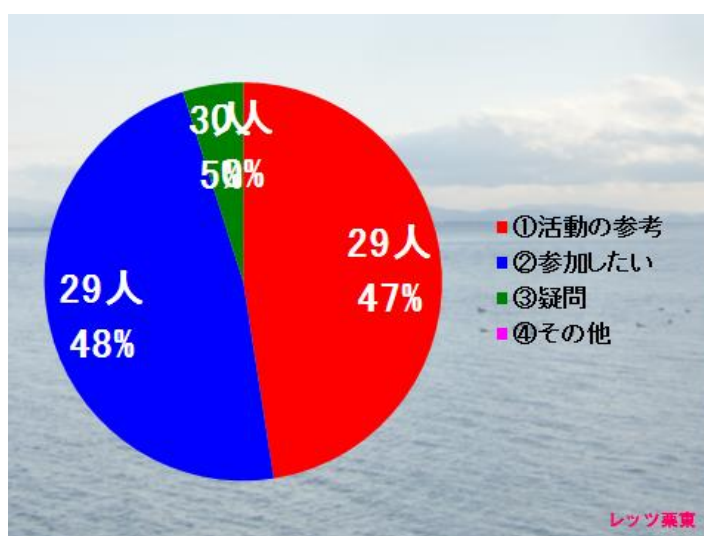
「桃源郷プロジェクト」について



③ 栗東市商工会から



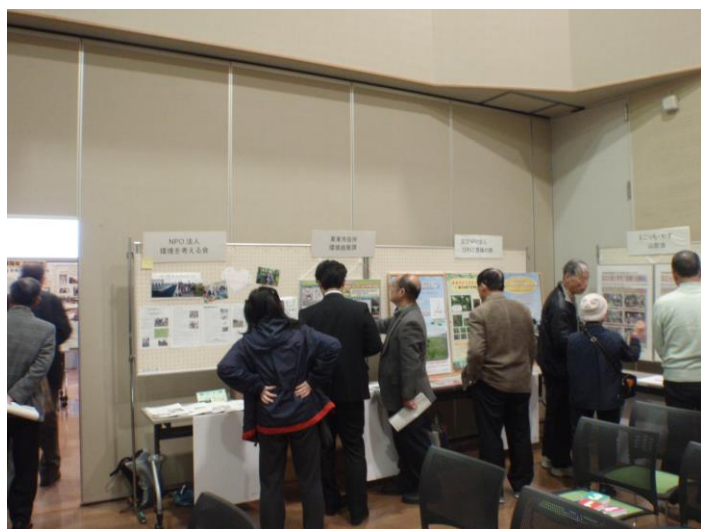
栗東フォレスト倶楽部プロジェクト
「地元企業による森林保全」



(6) 展示ブース巡り&意見交換

参加者の方に自由に展示ブースを見てもらいながら、出展者との交流をしてもらいました。

また各ブースに設置されたボードに、環境への思いを書いた「ラブレター」を貼ってもらいました。



展示ブース巡り & 意見交換の様子



(7) 琵琶湖の漁師料理と山の幸を囲んでの交流会（参加者53人）

漁師料理と山の恵みの肉料理の試食により、琵琶湖と森林を思い出し、琵琶湖産品の料理の魅力を知ってもらうと同時に、パネル展示&ブース巡りでは伝えきれなかった想いを語り合い、参加者間の交流を深めてもらいました。

この交流会が人と自然と生きものが琵琶湖に「つながる」契機になればと願っています。

漁師料理は、びわ湖の水と地域の環境を守る会、鹿肉と猪肉および焼きたてパンは、もんぺお婆さんの田舎工房から提供していただきました。



- ・ フナ寿司
- ・ フナの子造り
- ・ しじみ汁
- ・ あめのうおご飯
- ・ アユの田舎煮
- ・ エビ豆
- ・ ワカサギのマリネ
- ・ 焼きモロコの酢漬け
- ・ モロコの田舎煮
- ・ ブラックバスの唐揚げ
- ・ うろりの田舎煮
- ・ 焼きたてパン
- ・ 鹿肉と猪肉



～交流会の様子～

(8) 閉会あいさつ

○ 湖南流域環境保全協議会 中村満 副会長

＊ ＊ ふりかえり ＊ ＊

フォーラム当日は、好天にも恵まれ、たくさんの方に参加していただき「満足」との回答をいただきました。

フォーラムにおいて実施したアンケートのなかで、「まとまりのよいフォーラムでした。」「みなさんの取り組み、努力に敬意を表します。」という意見や、「今後の自分たちの活動に生かせるような話題の提供もあり大変有意義でした。」という回答がありました。

琵琶湖の漁師料理を囲んでの交流会については、初めて食べた人もよく食べる人も、「とてもおいしかった！」と大好評でした。

このフォーラムは、マザーレイクフォーラムと連携する地域フォーラムと位置づけ、草津市・守山市・栗東市・野洲市の4市で活躍されている団体、企業、学校、行政の展示や活動の場として開催しました。様々な環境保全活動を多くの人たちに知ってもらい、行動の輪をさらに広げるため、今後もこのような機会を継続したいと考えています。

ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。